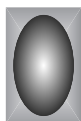


# INFORMATION



## International Society on Oxygen Transport to Tissue 2008 (ISOTT 2008：組織酸素輸送に関する国際会議)

開催日：2008年8月3日～8月7日

会場：札幌プリンスホテル（札幌市）

〒060-8615 北海道札幌市中央区南2条  
西11丁目

問合せ先：〒990-9585 山形市飯田西2-2-2

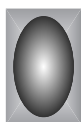
山形大学医学部 器官機能統御学講座

高橋英嗣

e-mail：eiji@med.id.yamagata-u.ac.jp

学会ホームページ：

<http://www.congre.co.jp/isott2008>



## 2007年度 第2回「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」 受賞者5名決定

世界最大の化粧品会社ロレアルグループ（本社：パリ）の日本法人である日本ロレアル株式会社（本社：東京都 新宿区、代表取締役社長：ピエール-イヴ・アルゼル）は、2007年度第2回「ロレアル-ユネスコ女性科学者日本奨励賞」の受賞者を、物質科学分野から3名、生命科学分野から2名決定し、2007年7月13日、日本工業倶楽部会館（東京）で発表および授賞式を行いました。

「ロレアル-ユネスコ女性科学者日本奨励賞」は、日本ロレアルが2005年11月に、日本ユネスコ国内委員会との協力のもと、日本の若手女性科学者が、国内の教育・研究機関で研究活動を継続できるように奨励することを目的として創設しました。対象者は、物質科学、生命科学の分野で、博士課程（後期課程）または、博士課程に進学する予定の女性科学者で、各分野2名ずつ受賞者を選考し、それぞれに賞状と奨学金100万円が贈られます。

なお、今回、特例として物質科学分野では、3名の授賞となりました。

審査は、米沢富美子（慶応義塾大学名誉教授）を委員長、郷 通子（お茶の水女子大学学長）を副委員長とする、両分野の権威9名で構成される選

考委員会が、研究内容、専門知識、着想力など、日本の未来を担う女性科学者としての可能性を総合的に評価しました。

第2回受賞者（2007年7月現在）は以下の5名です。（詳細は、日本ロレアルホームページ <http://www.nihon-loreal.co.jp> をご参照）

### ■物質科学

神谷 真子（カミヤ・マコ）（26歳）

東京大学大学院 薬学系研究科 分子薬学専攻  
研究分野：生体分析化学、ケミカルバイオロ  
ジー

研究内容：高感度蛍光プローブを用いた癌蛍光  
イメージング法の開発

作田 絵里（サクダ・エリ）（27歳）

北海道大学大学院 理学研究科 化学専攻  
研究分野：光化学、機能性物質化学

研究内容：ホウ素を架橋コアとした分子系の創  
製とその光機能性の解明

三浦 陽子（ミウラ・ヨウコ）（33歳）

名古屋大学大学院 理学研究科 物質物理学専攻  
（物理系）

研究分野：固体物理学



研究内容：ハニカム格子系遷移金属酸化物の物性研究

生体制御形態科学部門

研究分野：神経行動学，神経内分泌学

研究内容：ジュウシマツの雌雄差を手がかりとした発声学習のための神経機構

#### ■生命科学

黒田有希子（クロダ・ユキコ）(29歳)

東京大学大学院 医学系研究科 脳神経医学  
専攻 卒

07年4月～理化学研究所脳科学総合研究センター 発生神経生物研究チーム

研究分野：分子生物学

研究内容：破骨細胞分化における  $IP_3$  受容体の役割と新規破骨細胞分化のメカニズムの解明

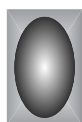
戸張 靖子（トバリ・ヤスコ）(29歳)

千葉大学大学院 自然科学研究科 多様性科学  
専攻 卒

07年4月～日本医科大学大学院 医学研究科

企業の社会的責任（CSR）活動として推進

日本は、国際的に見ても特に、研究者に占める女性の割合は、わずか11.9%にとどまっております。ロレアルグループは、科学の発展に寄与することを目指し、研究活動を最重要視し、女性研究者を積極的に登用しています。日本ロレアルでは、同賞が科学を志す若い女性にとって励みとなり、活躍の場を広げる一助となるよう、本プロジェクトを企業の社会的責任（CSR）の最優先課題に位置づけ、長期的視野に立って推進していく考えです。



## 2008年度 第3回「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」募集について

2008年度 第3回「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」の募集は、2007年11月12日（月）～2008年2月29日（金）までとなります。

対象者は、物質科学，生命科学の分野で、博士課程（後期課程）または、博士課程に進学する予定の女性研究者です。

2008年半ば、都内にて開催予定の授賞式において受賞者にそれぞれ賞状と奨学金100万円を贈呈します。

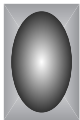
<お問い合わせ先>

「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」事務局

〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸  
3-2-1 KSP R&D-D237

日本ロレアル研究開発センター  
学術部 内

e-mail: fwis-japanfellowships@jp.loreal.com



## 平成20年度全かま連助成対象研究募集のお知らせ

全国蒲鉾水産加工業協同組合連合会（以下全かま連）では、「かまぼこ製品（水産練製品）の効用」に関する研究の募集を次の通り行ないます。

### ◆対象研究分野

かまぼこ製品（水産練製品）の血糖値抑制作用、抗癌作用、抗酸化作用、抗肥満作用、咀嚼による効用に関する研究

### ◆応募申請者の資格・条件

大学、短大あるいは研究機関に所属している研究者（グループも可）

### ◆研究成果の報告

- (1) 研究成果は助成期間終了後1ヶ月以内に、報告書にて全かま連に提出していただきます。（報告書の書式等詳細は助成決定後、該当者に連絡）同論文は、全かま連の年次報告書等において公表します。また、全かま連の要請により、全かま連主催の研究発表会（2009年6月予定）や講演会等において助成研究発表を行なっていただきます。
- (2) 研究成果を発表する場合には、本会の助成を受けたことを付記していただきます。

### ◆助成金額・採用条件

助成金は1件につき上限120万円（年間）とし、今期は最大5件の採用を予定しています。

### ◆平成19年度採用研究題目

- かまぼこ製品が消化されて生成する抗酸化性ペプチドのレーダーチャートを用いた総合評価
- かまぼこの脳機能改善効果に関する研究

—神経栄養因子の遺伝子発現作用による評価—

- かまぼこ成分のライブラリー化とその応用—「エキスライブラリー」と「ペプチドライブラリー」を用いた糖質の分解・吸収抑制成分の探索—
- B16メラノーマの増殖・肺転移に対する魚肉ねり製品摂取の影響
- かまぼこ給餌による大腸ガン抑制機序の解明および抑制成分の同定

### ◆助成期間

2008年4月から2009年3月の1年間とします。（疫学研究等ある一定期間の観察を必要とするものは、連続して助成することもあります。この場合も1年ごとに申請していただきます。その際は、予め年次計画書を提出していただきます）

### ◆応募受付期限

2008年3月5日（水）（必着）

採否結果は申請者に直接通知いたします。（2008年3月下旬頃を予定）尚、選考内容、選考基準に関してのお問い合わせ及び提出された申請書類の返却には応じません。予めご了承ください。

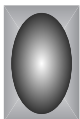
### ◆応募方法

所定の研究助成申請書（事務局にて郵送または全かま連ホームページ（<http://www.zenkama.com>）にフォーマットエクセルデータ掲載）に必要事項をご記入の上、事務局までご送付下さい。※郵送のみの受付となります。

### ◆応募申請書の請求及び提出先

〒102-8522 千代田区三番町 3-8 泉館三番町 1F (株)協同宣伝内  
全かま連 研究助成事務局 担当：赤星  
TEL：03-5212-7966 FAX：03-5212-6913

◆申請書の請求のみメールで受け付けます。  
E-mail：kamaboko@kyosen.co.jp  
(申請書は郵送・データいずれが希望かを明記して下さい。)



## 北海道大学大学院情報科学研究科生命人間情報科学専攻教員公募

1. 公募人員 教授 1名

2. 専門分野

生体工学に関係する専門分野：具体的には、研究成果の医工学応用を念頭に置きつつ、新規なバイオセンサーの開発、マイクロ・ナノバイオメカニクス、細胞・分子イメージング計測技術の開発、もしくは新規な生体機能制御技術の開発など、先端的生体工学に関する教育・研究を行う。

3. 応募資格

博士の学位を有し、教育および研究に熱意を持ち、この分野で優れた研究業績を持つ方。

4. 任用予定：

平成 20 年 4 月 1 日以降のできるだけ早い時期。

5. 提出書類

- (1) 履歴書（写真貼付、本籍または国籍、現住所、連絡先(電話番号、E-mail 宛先)、学歴(高校卒業以降)、職歴、学位、賞罰、日付、自筆署名押印)
- (2) 学会活動歴(国内外所属学会(活動状況)、受賞歴)。また、従事した研究プロジェクト(科学研究費を含む)、その他の社会貢献等に区分して記載すること。
- (3) 業績目録(査読付論文、その他の論文、国際学会講演論文、著書、総説)、特許に区分して記載。ただし査読付論文のうち可能な

ものについては、インパクトファクタおよび被引用数を付加すること。

- (4) 現在までの研究歴と研究業績の概要(2000字以内)、主要論文5編の別刷あるいはコピーを各5部
- (5) 将来の教育と研究に対する展望と抱負(2000字以内)
- (6) 応募者について意見を伺える方2名(氏名、身分、所属、メールアドレス、電話番号、Fax 番号)

6. 公募締め切り：平成 20 年 2 月 18 日(月)必着(期限厳守)

7. 応募書類の送付先：

〒060-0814 札幌市北区北 14 条西 9 丁目  
北海道大学大学院情報科学研究科・総務担当  
TEL：011-706-6945

8. 問合せ先：

大学院情報科学研究科・生命人間情報科学専攻・生体システム工学講座 河原 剛一  
TEL：011-706-7591,  
E-mail：kawahara@ist.hokudai.ac.jp

(注) 郵送の場合には、封筒表面に「生体システム工学講座教員公募応募書類 No. 19-24」と朱書きし、書留で送付願います。応募書類は原則として返却いたしません。